

聞かって どういうこと？

話すって どういうこと？ 小学校 4 年生

I アクティビティーについて

ねらい

自分の意見をうまく相手に伝えたり、相手の言うことをよく聞くにはどうすればよいかを体験的に学習することを通して、他者への共感や連帯感を育てる。

◆◆◆視点◆◆◆

- ◎共感と連帯感
- 自己尊重の感情
- コミュニケーション能力
- 多様性の尊重・共生
- 参加・参画

設定の理由

この発達段階の児童は、発表することに消極的であったり、話し合い活動が一部の活発な児童を中心に進められてしまう傾向が見られ、他者への共感や連帯感が十分に育っていない面がある。

そこで、表面的な言葉の伝達にとどまらないコミュニケーションの在り方を探究させる活動を通して、考えや気持ちを相互に伝え合い、わかり合うことの大切さに気づかせるとともに、他者への共感や連帯感を育てたい。

アクティビティーの概要

(1時間扱い)

- 活動1 「聞かってどういうこと？話すってどういうこと？」を行う。
- ・ 3人1組になり、「話し手」、「聞き手」、「観察者」になる。
 - ・ 全員が、話し手、聞き手、観察者の役割を経験するまで繰り返す。

- 活動2 「聞かってどういうこと？話すってどういうこと？」をふり返って話し合う。

アクティビティーの実際

- 準備するもの
発表者用の原稿（3分程度） 感想を記入する記録用紙（人数分）
- アクティビティーの進め方

活動1 「聞かってどういうこと？話すってどういうこと？」

- ① 静かに話しかけ、落ち着いた雰囲気を作り出す。
- ② 「聞かってどういうこと？話すってどういうこと？」のやり方を説明する。

＜教師の説明＞

- どうすればすぐれた聞き手、話し上手になれるのかについて、グループ全体で練習します。
- まず、3人一組に分かれてもらいます。そのうち、一人は話し手、他の一人は聞き手、そしてもう一人は観察者になります。
- 話し手は、聞き手に向かって発表原稿を読んでください。
- 聞き手は、話し手の話を聞いてください。
- 観察者は、話し手、聞き手の様子を注意深く観察し、よかったところなどをメモしてください。メモについては、話し手と聞き手にそれぞれ伝えてください。

- ③ 「聞かってどういうこと？話すってどういうこと？」を実施する。
- ④ 全員が、話し手、聞き手、観察者の役割を経験するまで繰り返す。

活動2 振り返り

- ① 「聞かってどういうこと？話すってどういうこと？」を振り返る。

＜振り返りの留意点と発問例＞

- 感想を発表できるようにする。

発問例

- ・ 話し手は、原稿の内容をうまく伝えることができましたか。
- ・ 話し手は、どういう態度で聞かれると話しやすかったですか。
- ・ 聞き手になるということは難しかったですか。
- ・ 相手が話しやすくするために、どんな態度がよいと思いますか。

- 今までの自分の話し方、聞き方を考えるようにする。

発問例

- あなたは、今まで、どんな話し方、聞き方をしていましたか。また、直した方がよいと思うところがありますか。

アクティビティを指導するポイント

- ◇ 児童自身が興味・関心をもっていること（例えば、スポーツや趣味など）を3分程度の発表原稿として事前に用意しておくこと。
- ◇ 本アクティビティは、国語科や学級活動に位置づけて実施することが可能である。

Ⅱ 授業展開例

～小学校4学年「学級活動」における授業展開例～

時	学 習 活 動	教師の働きかけ
	「聞かってどうということ？話すってどうということ？」を実施する。	
1	1 やり方の説明を教師から聞く。	○3人一組に分かれ、話し手、聞き手、観察者の役割分担をする。
	2 「聞かってどうということ？話すってどうということ？」を実施する。	○観察者は話し手、聞き手の様子を注意深く観察し、メモをとるようにさせる。また、観察者は、話し手、聞き手の様子について、それぞれにフィードバックするようにする。
	3 役割を交代し、同じ内容の活動を行う。	○全員が話し手、聞き手、観察者の役割を体験するまで続けさせる。
	4 活動をふり返り、話し合う。	○メモをもとに感想を発表し、話を聞く態度はどのようにすればよいか、考えさせる。
	5 自分が今まで、どのような態度で聞いていたかを考える。	○自分のこれまでの聞き方について、ふり返らせる。

Ⅲ 資料

(1) 発表原稿 (事前に3分程度にまとめておく)

名 前……………
伝えたいこと…

(2) 観察者用記録用紙

「聞かってどういうこと?話すってどういうこと?」
年 組 名前 ()
※感想をメモしましょう。(よかったところ、なおしたほうがよいところ)
【聞くときは…】
【話すときは…】